

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
						

様式第 1 号

令和 6 年 7 月 5 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員

吉原 啓介



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先 ①株式会社宝島社
②野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
③株式会社山と溪谷社
- 3 内 容 ①移住情報発信の手法に関するヒアリング
②メガロスアフタースクールに関するヒアリング
③健康志向世代の移住動向に関するヒアリング
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



行程表

令和6年7月16日	移動	7:10	岡山空港（※真庭→空港は自家用車）	JAL
		8:25	羽田空港	
		8:52	羽田空港第1ターミナル	東京モノレール
		9:15	浜松町	JR
		9:18		
		9:22	有楽町	東京メトロ
		9:29		
	9:39	半蔵門		
	株式会社宝島社	10:00～ 12:00	移住情報発信の手法に関するヒアリング	
	移動	12:33	半蔵門	東京メトロ
		12:37 12:40	青山一丁目	
		12:53	中野坂上	都営地下鉄
	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	13:00～ 15:00	メガロスアフタースクールに関するヒアリング	
	移動	15:05	中野坂上	都営地下鉄
15:12 15:20		新宿		
15:50		北浦和	JR	
令和6年7月17日				
令和6年7月18日	移動	13:56	北浦和	JR
		14:20 14:26	上野	
		14:43	神保町	東京メトロ
	株式会社山と溪谷社	15:00～ 17:00	健康志向世代の移住動向に関するヒアリング	
	移動	17:14	神保町	東京メトロ
		17:31 17:35	上野	
		18:01	北浦和	JR
令和6年7月19日	移動日	7:48	北浦和	JR
		8:33 8:36	浜松町	
		9:00	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		10:15	羽田空港	ANA
		11:30	岡山空港（※空港→真庭は自家用車）	
※宿泊				

報 告 書

令和 6 年 7 月 22 日

真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 吉原 啓介



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

記

1. 面談：株式会社宝島社（田舎暮らしの本）

(1) 日時

令和 6 年 7 月 16 日（火） 10 時～12 時

(2) 場所および相手方担当者

場 所：先方本社

（千代田区一番町 25）

担当者：広告局 宮久保 剛 氏

(3) 内容

- 中高年以降の世代の移住動向についてヒアリングした。
- 同社の「田舎暮らしの本」では、定期的に移住先人気ランキングを掲載しており、リタイア世代の移住先希望のカテゴリーもある。
- 最近では、北九州市の人気の高い。
- 年金受給世代にとって、都市部での生活が経済的に厳しいのは事実。
- とはいえ、生活費が安いから、という理由だけで田舎暮らしを志向するニーズがあるのかどうかということまで検証したことはない。
- また、「田舎暮らしの本」においては、どちらかというとライフスタイルのイメージをかたちづくるスタイルなので、生活費の支出割合構成や年収との収支バランスといった現実的すぎる企画は難しいかもしれない。
- 「住みます芸人」コラボ企画のようなエンターテインメント性の高い企画は継続的に行っており、真庭市にも提案はさせていただいているが、今後、移住者の実際の生活に密着したレポート記事（生活コストも開示するような）企画を通じて、幅広い世代にライフワークバランスやある意味切実な経済的な面での切り口からの移住提案企画を検討してもいいかもしれない。



2. 面談：野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社

(1) 日時

令和6年7月16日（火） 13時～15時

(2) 場所および相手方担当者

場 所：先方本社

（中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー15F）

担当者：事業創発部 事業創発課長 金子 英史 氏

事業創発部 事業創発課 マネージャー 後藤 浩友樹 氏

(3) 内容

- 主に都内と神奈川県を中心としてスポーツクラブ「メガロス」を運営している会社。
- 事業エリアの拡大を目指すとともに、建物空きスペースを活用した体操スクールの新規事業を検討している。
- 体操スクールについては、基本的には就学前の幼児が対象だが、エリアによっては小学生以上の放課後児童クラブの機能も持った総合的な子どもの居場所づくりにつなげることも考えている。
- 子どもの居場所づくり（メガロスアフタースクール）に関しては、官民連携等の可能性も探りたいと思っている。
- 将来的には、学校の部活動受託も視野に入れている。
- 同社は、首都圏において体育館やプール等の公共施設の指定管理を受けている実績もある。
- もともとプロのスポーツインストラクターを擁する組織なので、運動系の公共施設の運営においては利用者から高い評価が得られている。
- 西日本での事業実績はまだないので、真庭市において何か課題事項があればぜひ協業の提案をさせてほしい。

3. 面談：株式会社山と溪谷社

(1) 日時

令和6年7月18日（木） 15時～17時

(2) 場所および相手方担当者

場 所：先方本社

（千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビル）

担当者：法人営業部 マネージャー 湯浅 陽介 氏

(3) 内容

- 中高年以降の移住・ライフスタイル志向に関するヒアリング。
- 「山と溪谷」の読者層は40代以上が約7割、50代が最大のボリュームゾーンとなっている。
- コロナ禍で、特に中高年層におけるアウトドア志向、手頃に始められる運動として健康山歩き等への興味が高まった。
- 定年後も体力維持やグループコミュニケーションを求めてこういった活動を継続したいというニーズは確かに存在すると思う。

○真庭市の環境は、こういった層の需要に合致するところもあるので、弊社でお手伝いできることが必ずあると思う。

○ぜひ、市の所感部署または観光局につないでいただき、お話をさせていただきながら真庭の魅力を引き出す方法を提案していきたい。

4. 各相手方との面談を終えて

いずれの事業者も、「自治体・公共 Week 2024」（令和6年6月26日、27日 於：東京ビッグサイト）で対話した相手方であるが、当日は時間も限られていたため先方の提供サービスの概要確認にとどまっていた。今回は事前に当市の概要、特性を伝え、課題に対するソリューション提案ができるかどうか、ある程度具体的な話ができるようにあらためて時間を設けて訪問したもの。

いずれも今後の真庭市の施策において大事な課題に結びつくものであることから、受領した提案、またこれから受ける提案内容については関係部局と共有し、検討を働きかけたい。

以 上